

編集にあたって

この度、『脊椎手術パーフェクト』を刊行することとなった。脊椎の手術手技書は複数発刊されているが、本書は脊椎脊髄手術を専門的にはじめてから数年の若手脊椎脊髄外科医を主なターゲットとしている。若手の先生が、本書にある術式をはじめて執刀する直前に読んで役立つ内容を多く含むよう心がけた。掲載術式としては、脊椎脊髄外科医がおそらくまず担当するであろう腰椎椎間板ヘルニア手術、腰部脊柱管狭窄症に対する除圧・固定術、そして頸椎症性脊髄症に対する椎弓形成術の各術式を中心に誌面を割いた。また、頸椎前方手術、胸腰椎前方手術など、ある程度経験を積んだ医師が執刀する機会があると考えられる手術についても盛り込んだ。

各項目の構成としては、適応や手術計画の立て方からはじまり、実際の手術手技について、豊富な術中写真とシェーマを用い概説した。実際に手術を行ううえでのコツや注意点については「point」「Clinical Tips」「注意」として本文中に盛り込んだ。また、知っておくと便利な豆知識を「memo」として記載している。あわせて、「コラム」として合併症発生時の対処法についても記載した。

各術式の解説は、臨床の最前線で実際にその手術を多く執り行っている先生方に執筆いただいた。それぞれの先生がご自身の得意手術について、豊富な経験から得られた知識や、成書・解剖書には書かれてない実臨床からしか得られないコツを惜しむことなく、大変教育的に、丁寧に解説してくださっている。

本書は若手の先生のみならず、ベテランの先生方にも知識の整理や新しい情報の取得に役立つ内容が多く含まれていると考える。ぜひ、まずはご自身の明日の手術の項目のページを開きご熟読いただき、お役立ていただければ幸甚である。

最後に、快く執筆を引き受けていただいた先生方に深謝いたします。また、本書の企画・編集にご尽力いただいた羊土社編集部の大家有紀子様、森 悠美様に御礼を申し上げます。幸いです。

2024年1月

千葉大学医学部附属病院 整形外科
古矢丈雄